

常盤地区 防災計画

地震等各種災害から命を守る



平成 29 年 3 月

災害時の避難行動、避難所開設・運営の流れは次のとおりです。

地震の場合

風水害の場合

身の安全を確保

※自宅待機の場合もあり

災害対策本部役員

避難所運営組織担当

常盤西
会 館

災害対策
本 部
立上げ

- ・ 災害情報の収集
- ・ 初期初動対応
- ・ 区本部と連携

災害時避難所の開設

- 施設が開いている場合
施設管理者と協力して開設

- 施設が閉まっている場合
鍵管理者によって開錠 ※

災害時避難所の避難者の受入準備

- ・ 安全点検
- ・ レイアウト等

避難者の受入

避難所運営

- 運営体制づくり
総務班、避難者管理班、情報班、
食料・物資班、救護班、衛生班
- 各班別の役割で運営

避難所統廃合

避難所閉鎖

地域で決められた
集合場所等へ

災害時避難所へ
避難

避難誘導

情報収集

消火活動

救出・救護

気象情報に注意

声をかけ合って
早めの避難
(災害時避難所等へ)

災害発生

避難行動

避難所開設・運営

24 時間
程度

3 週間
程度

※開錠については、原則、避難所担当職員が行うが、不在や緊急の場合、地域の鍵管理者が開錠する。

災害発生

緊急速報メール（※）などによる災害発生情報

身の安全を確保

- 揺れが収まるまで安全確保
- あわてて外に飛び出さない
- ラジオやテレビ等で正確な情報を得る

安全確保が
第一！揺れが
収まったら一緒にいる家族
等の安全を確認

- 家族の安否を確認
- 避難に向けて、出口確保
- 電気のブレーカーを落とす
- ガスの元栓を閉める

10 分

～

数時間

隣近所で声を
かけ合い

- 声をかけ合って
安否確認

避難行動要支援
者への避難支援
も地域で配慮し
ます！助け合って地域の
集合場所など近く
の安全な場所へ

- お互いに助け合って
避難

身近なところでの
確認が、“命を守り
合う”迅速な活地域の集合場所
などで状況確認
・活動

- 安否確認
- 状況により、協力し
合って救出・救護
- ※自宅の安全が確認できれば
帰宅する方もいます。

！
地域で役割分
担を想定して
います状況を見て災害
時避難所へ避難

- できるだけまとまって
助け合って避難
- ※避難者は施設の安全が確認
され、準備が整うまで校庭
等で待機

※「緊急速報メール」は携帯電話事業者が無料で提供するサービスで、国や地方公共団体による災害・避難情報等を、回線の混雑の影響なく、特定のエリア内の対応端末（携帯電話）に一斉に配信するもの

地域の集合場所と役割分担

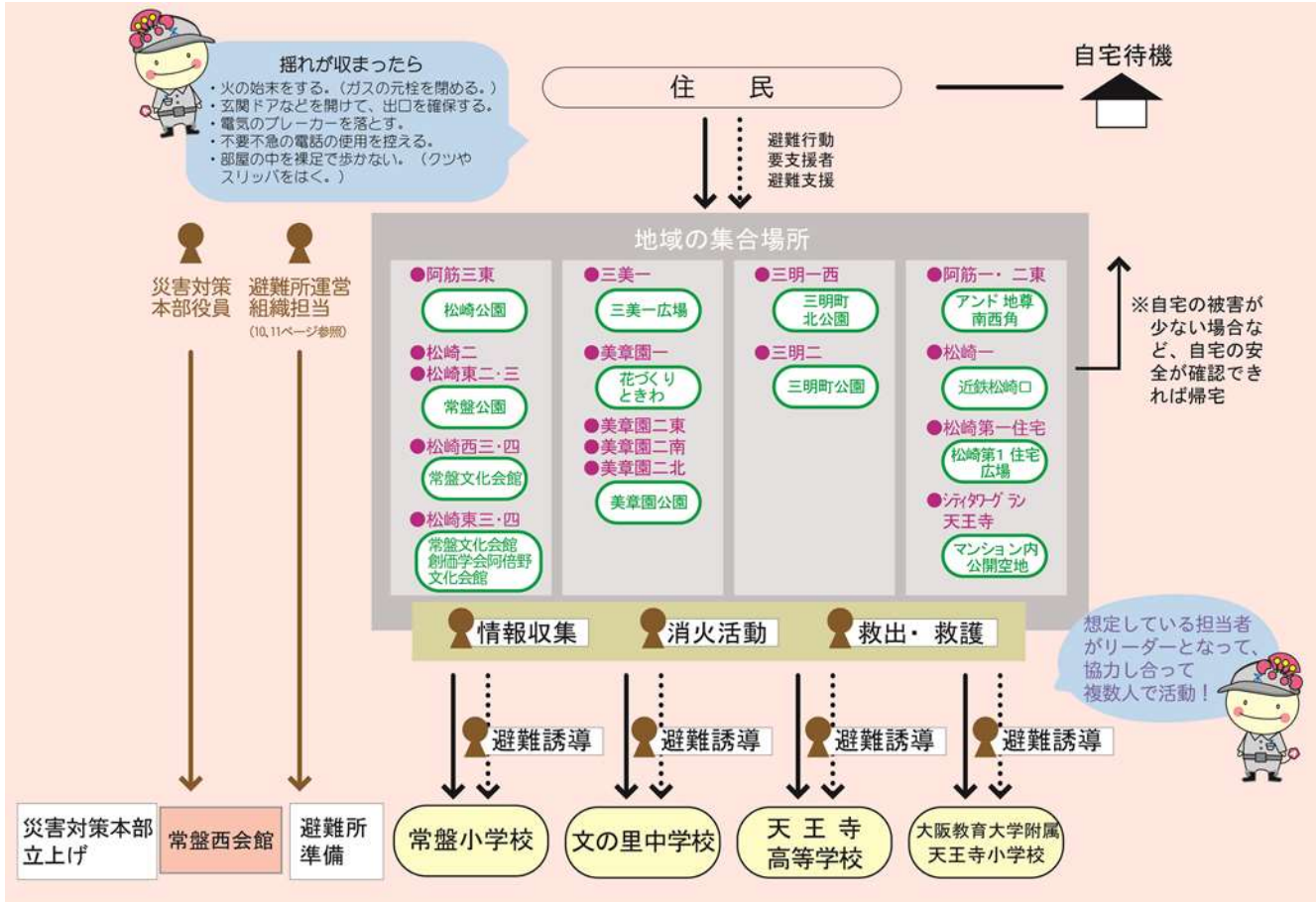
想定町会（※）	集合場所	責任者	情報収集	消火活動	救出・救護	避難誘導
●阿筋一・二東町会	アンド地尊 南西角					
●阿筋三東町会	松崎公園					
●松崎一町会	近鉄松崎口					
●松崎第一住宅町会	松崎第1住 宅広場					
●松崎二町会	常盤公園					
●松崎東二・三町会						
●松崎西三・四町会	常盤文化会館					
●松崎東三・四町会	常盤文化会館					
	創価学会 阿倍野文化会館					
●シティワークラン天王寺 町会	シティワークラン内 公開空地					
●三美一町会	三美一広場					
●三明一西町会	三明町 北公園					
●三明二町会	三明町公園					
●美章園一町会	花づくり ときわ					
●美章園二東町会	美章園公園					
●美章園二南町会						
●美章園二北町会						

※想定町会とは、各町会の地域〈エリア〉を指します。

災害時は最寄りの安全な場所へ行くことが重要になります。想定町会以外の方が集まられることもあります。

※集合場所各担当者は個人情報保護のためホームページでは割愛いたします。

避難時の流れ



●風水害の場合は？

気象情報に注意して、避難の呼びかけ（「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」など）があった場合、声をかけ合って災害時避難所等へ避難します。

気象情報に注意

むやみに外出しない

- テレビ、ラジオ、インターネット等で気象庁から発表される警報・注意報や、区役所等からの避難に関する情報に注意します。
- 台風が接近しているときや豪雨のときは、不要不急の外出はしないようにします。

**声をかけ合って
早めの避難**

- 危険が予想される場合など避難の呼びかけに注意して、隣近所で声をかけ合って避難

避難の呼びかけに注意！
テレビ ラジオ
小学校等に設置された
屋外スピーカー（同報系防災行政無線）

災害時避難所等へ

- できるだけまとまって災害時避難所等へ
- 避難にあたって支援が必要な人の避難支援

3時間程度
が目安

数時間

～

1日

24時間程度
が目安

災害対策本部立上げ [常盤西会館]

- ・ 災害情報の収集
- ・ 初期初動対応
- ・ 区本部と連携

災害時避難所の開設

- ・ 常盤小学校
- ・ 文の里中学校
- ・ 天王寺高等学校
- ・ 大阪教育大学附属天王寺小学校

- 施設管理者等と連携して災害時避難所の開設

* 学校の開校時間内は施設管理者が開放
* 開校時間外は避難所担当職員、施設管理者が開放
* 避難所担当職員、施設管理者ともに不在で緊急の場合、
地域の鍵管理者によって開設

- 施設の安全点検

避難者の受入準備

- 備蓄倉庫の中から「災害時避難所開設時用物品」を取り出し、準備



- 施設のレイアウトづくり

★備蓄倉庫の位置を確認しておきましょう！

避難者の受入

- 避難者の受付
- 名簿作成
- 区災害対策本部への報告

避難所運営

- 運営組織の設置
- 各班別の役割実施

！
地域で役割分担を想定しています